発表申込及び講演要旨作成・投稿要領

第 53 回研究発表会及び現地見学会実行委員会
（公社）日本地すべり学会　事業計画部

研究発表会の発表申込及び講演要旨の投稿は電子メールのみにより行います。以下の点に注意してお申し込み下さい。学会ホームページに随時更新情報を掲載しますのでそちらもご覧下さい。ご不明な点は学会事務局までお問い合わせ下さい。なお、今年度は、従来冊子として作成してきた講演集を、CD 化・Web 公開とする予定です。これによりカラ―原稿も受け付け可能となります。また、投稿いただいた原稿は CD 化および期間を限定した Web 公開（パスワード管理）となりますので予めご承知置きください。特に特許出願等に関連した研究発表内容の公開日は、大会当日ではなく要旨の Web 公開時点（7 月後半を予定）となりますのでご注意ください。

１．発表方法と申込方法

◆発表方法

(1) 発表方法は口頭発表とポスター発表があります。口頭発表はパソコン画面を投影するビデオプロジェクターのみ使用できます。ポスター発表はポスター掲示のみ可能です（1 時間の発表コアタイムを設けます）。ポスター発表で展示物の陳列を希望される方は、必ず申し込み時に学会事務局までお問い合わせください（ご希望に添えない場合もあります）。

(2) 口頭発表，ポスター発表ともに，それぞれ発表者 1 人につき 1 件までとします。1 人の発表者が口頭発表とポスター発表の両方に，異なる内容の発表を申し込むことは可能です。

(3) 発表者（共著者）は最大 6 名としてください。

(4) 口頭発表者は、発表するセッションの希望を、次の中から第 2 希望まで番号で選択して下さい。本大会では 2 つの特別セッションを企画しております（詳しくは、『特別セッションのご案内』を参照してください）。

1. 事例報告／2. 地すべり機構／3. 地すべり調査・計測／4. 斜面安定／5. 対策
6. その他／7. 特別セッション 1（斜面対策施設の維持管理）／8. 特別セッション 2（火山とその周辺地域における斜面災害）

なお、発表セッションは、希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

(5) 若手会員によるポスター発表を対象とした表彰を実施しています。発表時点で 35 歳以下の会員を対象とし，優秀者には賞状と副賞を贈呈いたします。なお、登録票には必ず発表時点の年齢を記入してください（前年度までに同表彰を受けた方は候補から除外します）。

◆申込あたっての注意事項

(1) 発表申込は登録票と講演要旨原稿の投稿を持って受付とします。

(2) 発表は，発表者が発表申込み時点で（公社）日本地すべり学会の正会員または学生会員であること、かつ今年度の会費を入金済であることが必要です。非会員の方は申込時までに入会手続きを行ってください。入会手続きには約 3 週間を要しますのでご注意ください。連名の場合，発表者が筆頭である必要はありません。

(3) 申込後，確認のメールを学会より返送しますので，それにより発表受付の確認を行ってく

ださい。申込後に確認のメールが一週間経っても届かない場合には，事務局までご確認ください。なお確認メールの発信は申込から数日遅れる場合もあります。

(4) 発表申込方法や発表時の注意事項，ポスターの作成要領など研究発表会に関する情報は，随時学会ホームページ上に掲載しますので，適宜ご確認ください。

(5) 講演要旨の著作権は，公益社団法人日本地すべり学会規則第20条に規定された出版細則第9条に基づき学会に帰属します。

◆申込方法

発表申込は電子メールのみで行います。方法は次の①～③の手順に従ってください。

①講演要旨原稿の作成方法に従い講演要旨原稿を作成する。

②登録票フォームを学会ホームページよりダウンロードし，登録票を作成する。

③後掲のアドレスに登録票と講演要旨原稿を電子メールに添付して送付する。

◆講演要旨原稿の作成方法

(1) 発表内容は原則として未発表のものとし，先行研究を引用する場合には，引用元を明示すると共に，許諾等の処理を著者において済ませてください。

(2) 講演要旨原稿は、電子メールのみ受けます。後段に掲載した「作成要領」に従って作成してください。なお原稿はA4サイズで1ページまたは2ページとします。

(3) 今大会では講演集のＣＤ化・Web化を図ります。カラー原稿も掲載可能です。

(4) 原稿はPDF形式（アドビシステムズ社製 adobe acrobat形式）のみ受付可能です。PDFファイル作成時には，そのまま印刷して使用できる状態になるよう画像出力の解像度をあらかじめ確認，調整しておいてください。

(5) ファイルのサイズは必ず5MB以下にして下さい。やむを得ず5MBを超える場合は、あらかじめ事務局にご相談ください（紙原稿は受け付けません）。

(6) ファイル名は発表者とし、口頭発表の場合は先頭にO、ポスター発表の場合はPを添えてください。

例）： P鈴木太郎、O佐藤花子

◆登録票の作成方法

(1) 登録票は、XLS形式（マイクロソフト社製 Microsoft Excel）またはCSV形式(カンマ区切りテキスト)形式で作成し、講演要旨原稿合わせて送付して下さい（PDF形式には変換しないでください）。フォームや記入例は学会ホームページ上に掲載しています。

(2) 項目は，発表タイトル等，連絡先，発表方法などがあります。記入例に従って作成してください。

(3) 題名、著者名・所属等が同封の講演要旨と合致していることを必ず確認してください。

(4) ファイル名は発表者とし、口頭発表の場合は先頭にO、ポスター発表の場合はPを添えてください。

◆登録票と講演要旨原稿の送付方法及び送付先

(1) 受付は電子メールのみです。アドレスを間違えないよう十分注意して送信してください。

・送付先アドレス　：　presentation@landslide-soc.org

・申込期間：平成 26 年 5 月 7 日（火）受付開始～平成 26 年 6 月 2 日（月）正午まで

(2) メールの件名は、研究発表会　発表申込【氏名】とし、氏名欄に【発表者】のお名前を記入してください。

(3) 申込期限は必ず守ってください。これを過ぎた場合は発表を受け付けません。

(4) 申込後の原稿差し替えは受け付けません。あらかじめ十分確認の上、投稿願います。

(5) 申込期限の間際はサーバーへのアクセスが集中してつながりにくくなることがあります。早目に申込を済まされるようご協力をお願いします。

２．発表までの流れ

・6 月 2 日：発表申し込み・原稿提出締め切り

・6/月末　：発表プログラム作成

・7 月初旬：学会ホームページにてプログラム、発表方法（詳細）の公開）
申込連絡者へのプログラム・発表方法（詳細）のメール送付

・7 月後半：講演集 Web 公開

＊変更となる場合もあります。

３．研究発表会講演要旨作成要領

(1) 原稿用紙は A4 縦置とし，下記の要領にて記入してください。

(2) 原稿枚数は 1 枚または 2 枚とします。

A4用紙サイズ（210mm×297mm）

25mm

発表番号が入るため、横30mm×縦10mmの余白をとる

地すべり学会発表要旨の見本(H26年度改訂版)

Style sample for proceedings of the general meeting of the Japan Landslide Society

地すべり太郎（○○大）＊ 学会花子（△△大）
Taro JISUBERI（○○ Univ.）, Hanako GAKKAI（△△ Univ.）

当日の講演者名の右肩に＊印を付ける

キーワード：地すべり，大会，要旨集，マニュアル
Keywords: Landslide, Gereral meeting, Proceedings, Manual

20mm

20mm

1．全般について

1).この版下原稿作成方法の見本は第 1 ページのものである。第 2 ページは全面を文章・図表とする。

2)．原稿はＡ４縦置き横書きとし、全体で 1 ページまたは２ページとする。

3)．原稿はワープロなどで作成し、そのまま印刷ができる状態となるように仕上げる。

4)．余白は上下端より 25mm、左右端より 20mm を確保し、文字や図表は余白にはみ出さないようにする。はみ出しがある版下原稿は受理できない。

5)．ページ当たりの行数は 50 行前後とする。

2．表題等について

6)．第 1 ページ目の先頭部分に、表題、氏名（所属）、キーワードを行を変えて記載する。

7)．表題等の部分は段組無し（１段組）とし、中央揃えする。

8)．文字のサイズは表題が 14 ポイント、それ以外は全て 10 ポイントとする。なお活字の天地を表すポイントの大きさは、１ポイントを 0.3514mm としてこれにポイント数を掛けた値である。英文の場合は表題のポイントを下げ、文字数や行数を若干増やすことが好ましい。

9)．氏名（所属）の下に、4 ～ 6 語のキーワードを記す。

10)．和文の場合、表題、氏名（所属）、キーワードのそれぞれに改行の後に英文を合わせて記載する。

11)．表題の左に発表番号を印刷するので、ページ余白の内側に横 30mm、縦 10mm のスペースを必ず残す。

12)．キーワードの下に約 1 行分の空白を空ける。

3．本文について

13)．和文の場合、本文は横書き２段組とする。片段の 1 行あたりの文字数は 20 ～ 22 文字とし、文字サイズは全て 10 ポイントとする。

14)．本文が英文の場合には 1 段組でもよい。

15)．大きな図表が必要な場合には、２段組の場合でも両段に跨ってもよい。

16)．原稿にカラーの写真や図表を貼り付けることも出来る。

17)．その他、参考・引用文献、脚注の書き方は、地すべり学会誌の執筆要領に準ずる。

4．投稿方法について

18)．作成した原稿は、別途指定する送付先に指定する方法で、電子ファイルとして投稿する。

19)．電子ファイルはそのまま掲載されるため、投稿前には必ず、紙に出力してそれが適切であることを確認する。

5．その他

20)．口頭発表、ポスター発表のどちらの場合でも同様に当該要領に従って原稿を作成し投稿する。

21)．前述の講演要旨作成要領、学会ホームページに掲載される情報なども参考に作成する。

22)．不明点などがあれば学会事務局へお問い合わせ下さい。

25mm

ページが入るので必ず空ける

『特別セッションのご案内』

特別セッション１：斜面対策施設の維持管理

近年、社会資本の老朽化に伴いその維持管理が大きな問題となっています。地すべり対策施設でも、集水井・水抜きボーリング工、アンカー工などで劣化にと伴う性能低下が問題となっており、健全性の診断・評価手法や対策方法などについて研究や技術開発が進められています。老朽化が進む構造物の効率的な維持管理は、今後ますます重要性を増すと予想され、地すべりや斜面防災に関わる研究者・技術者も取り組んでいくべき重要なテーマであると考えます。このような状況を踏まえ、2014 年度の日本地すべり学会茨城大会において「斜面対策施設の維持管理」をテーマとする特別セッションを開催します。

この特別セッションでは、地すべり対策工のほか、アンカー工、コンクリート吹付工、擁壁工といった斜面対策工も含め、構造物の老朽化の実態や劣化機構に関する研究成果、老朽化施設に対する調査・診断事例、補修補強など性能回復事例や、これらに関わる新技術等に関する発表をしていただき、今後の斜面対策施設の効率的な維持管理について議論を深めていただこうと考えています。多くの研究者・技術者の方々、また構造物の管理者の皆様のご参加を期待いたします。

特別セッション２：火山とその周辺地域における斜面災害

近年、ゲリラ豪雨と通称されるような局地的な大雨による斜面災害が発生し、今後顕在化すると予想され極端気象により増加する可能性も懸念されています。さらに、昨年 10 月には、伊豆大島の降下火山砕屑物の堆積した急傾斜地において、豪雨による表層崩壊が多発し大規模な土砂災害を引き起こしました。

火山国であるわが国に多く分布する降下火山砕屑物の堆積域での局地的な豪雨の影響を考慮すると、火山とその周辺地域における斜面災害が発生する危険性を予測し、対策を講じておくことが重要な課題であり、これらの災害に対する研究をいっそう深化させる必要性があります。このような状況を踏まえ、2014 年度の日本地すべり学会茨城大会において「火山とその地域における斜面災害」をテーマとする特別セッションを開催します。

この特別セッションでは、昨年伊豆大島で発生した斜面災害に携わった研究者だけでなく、地震時を含め火山砕屑物分布地域で発生する斜面崩壊、地すべり、土石流、山体崩壊等の斜面災害の研究および対策に携わっている研究者・技術者の方々にご参加いただき、議論を深めていただくことを期待しています。

＊特別セッションは、講演集執筆・発表・質疑応答いずれも、一般発表と同じスタイルで実施されます。